

あしはら

横断歩道で旗振りのボランティアをする菊池さん

いつも見守ってくれてありがとう

【毎朝、横断歩道で見守りをする菊池孝子さんとは】

菊池孝子さんは民生児童委員、開かれた学校づくり協議会の委員、そして六木一丁目町会婦人部長です。学校の周りの掃除や横断歩道で旗振りをするボランティアを始められたのは10年ほど前だそうです。菊池さんはどのようなスケジュールで動いているのでしょうか？

「毎朝4時から学校周辺を中心に、団地の方まで掃き掃除をしています。一度帰宅して、また7時半に学校に戻って主事さんと一緒に、学校周辺の通学路を掃除します」

履き貯めたごみは45ℓのゴミ袋いっぱいになることもあるようです。それを全部自宅に持ち帰って捨てています。7時55分には掃除を終わらせ、車通行止めの柵を出します。子どもたちが通学してくるころ、1人1人に元気な声で「おはようございます！」と挨拶しています。



「元気に挨拶を返すことができる子と苦手な子がいます。二つの横断歩道を信号が変わるたび、交互に見ながら誘導するので、なかなか気を抜くことができません。子どもたちだけではなく、通勤やお散歩などで通る方々にも挨拶を交わしています。様子が変な子どもとか不審者とかがないか、それとなく見えています」

活動に対して、綾瀬警察署から感謝状と委嘱状を頂いたこともあったと言います。そのときに指定されたピンク色のチョッキを身につけていて、登校中の子どもたちからも、遠くにいる菊池さんがよくわかりますね。取材当日も8時20分まで休みなく子どもたちのために頑張ってくださいました。

【朝の奉仕活動のきっかけ】

菊池さんは会社を定年で辞めてから、民生委員になったそうです。子どもたちと関わることをしようと思い立ち、朝の登校時に横断歩道で交通安全を見守る活動を始めたのだとか。「子どもたちが慣れてくれるまで5年掛かったのよ」と笑います。

「私が立ち始めた最初の頃は先生たちも戸惑っていたと思う。毎朝、根気よく挨拶をしたことで、子どもたちや先生方からも理解を頂いた気がします」

子どもたちの安全のためにと強い思いが、子どもたちや先生方の心に届いたということなのかもしれません。



【朝のボランティアで印象的なできごと】

雨の日も雪の日も清掃に横断歩道の見守りにと10年続けている朝の活動で、印象的なできごとはどんなことでしょうか？

「転んでしまった子を学校に連れて行ったことや、学校まであと少しのところでも中に入れない子をおんぶして連れて行ったこともあり。一番印象的なできごとは、大雪が降った日のこと。中北の先生方と職員さんと総出で雪かきをしたのを覚えています。みんなでスコップを使って、子どもたちが登校できる道を作りました。」

あと勤労感謝の日に、たくさんのお子さんたちから感謝のメッセージカードをもらったことが嬉しかったですね。今でも大切にしています。そのときに校長先生が私のことを書いてくれた『中北だより』も大切にしていますよ」



転んで擦り傷を作った子のために、ばんそうこうを持ち歩いていると言います。ボランティア活動に対して足立区役所から感謝状を頂けるとお知らせが来たこともありましたが、「受け取るつもりはないのよ」と彼女は謙虚におっしゃいました。

【子どもたちと保護者の方へのメッセージ】

「子どもたちはとにかく車に注意してください。あと元気に挨拶をしましょうね。子どもたちが中学に進学する時期は寂しいけれど、中学に行っても挨拶をしてくれる子がいるととても嬉しいです。お父さんお母さんたちは一日が始まる朝は、怒りたいことがあってもグッとこらえて笑顔で子どもを送り出してくださいね」



菊池さん、
ありがとうございました。

